

養成施設担当者の皆様へ

推薦書の記載方法について

1. 学業評価の基準について

○第1学年の者

① 高校等の平均評定により以下のとおり評価願います。

- 4. 8以上 : 1 極めて優秀
- 4. 5以上4. 7以下 : 2 優秀
- 4. 2以上4. 4以下 : 3 普通
- 3. 9以上4. 1以下 : 4 やや努力がいる
- 3. 3. 8以下 : 5 努力がいる

→上記のどの区分に該当するかを説明欄に記載願います。

例：4. 3のため、「3 普通」としました。

② 高卒認定者や社会人入学生など、評定によりがたい場合は、入学試験の順位により以下のとおり評価願います。なお、一般入試、推薦入試、AO入試など入試の種類が複数ある場合は、当該学生が受験した区分での順位で判断願います。

また、順位付けをしていない場合は、入学試験の総得点等から上位何割に該当するかをおおよそで割り出して評価願います。

- 合格者の上位2割以内 : 1 極めて優秀
- 合格者の上位3割以内 : 2 優秀
- 合格者の上位4割以内 : 3 普通
- 合格者の上位5割以内 : 4 やや努力がいる
- 合格者の上位5割未満 : 5 努力がいる

→上記のどの区分に該当するかを説明欄に記載願います。

例：試験区分の合格者80名中、18位であった者

$$18 \div 80 = 0.225$$

→上位3割以内のため、「2 優秀」に該当。

○第2学年以上の者

前年度の総単位成績により評価願います。

- 80点以上が8割以上 : 1 極めて優秀
- 80点以上が7割以上8割未満 : 2 優秀
- 80点以上が6割以上7割未満 : 3 普通
- 80点以上が5割以上6割未満 : 4 やや努力がいる
- 80点以上が5割未満 : 5 努力がいる

→養成施設によって、成績区分を細分化している場合もあるかと思いますが、上記に準じて評価してください。

例（S:90点以上、A:80~89点、B:70~79点、C:60~69点、不可:59点以下としている養成施設の場合）

科目名	単位数	成績	科目名	単位数	成績
〇〇理論	1	A	〇〇科学	2	A
〇〇基礎	1	B	〇〇生物学	1	A
〇〇実技	2	S	〇〇理論Ⅱ	2	B
教養一般	1	C	実習理論	1	A
〇〇実践論	2	不可	ケア学基礎	2	S
〇〇科学Ⅱ	2	S	スポーツ科学	1	不可
理学療法一般	1	S	ケア学専門	2	C
患者心理論	2	S	検査論	2	A

●総単位数：25単位（不可となった科目の単位数も含めてください。）

●80点以上の単位数：16単位（SとAの単位数を計上。）

● $16 \div 25 = 0.64 \Rightarrow$ 6割以上7割未満に該当することから、「3 普通」となる。

2. 人物評価の基準について

下記の5つの着眼点により総合的に評価願います。特に県としては③を重要視しているため、必要に応じて担任教諭等による面談や聞き取りなどを通じて定着意志や本人の描いている将来像を確認願います。

- ① 当該年度の出席率
- ② 課題等の提出状況
- ③ 県内定着意志
- ④ 授業態度
- ⑤ 他者との協調性

上記の5つの着眼点により、どのように評価したかを説明欄に具体的に記載願います。

例：① 出席率は9割以上である。

② 提出率は普通である。

③ 家族をととても大切にしており、実家所在地の〇〇市での就業を希望しており、県内で働く意志が強いと思われる。

④ 真面目に受けているが、積極的に発言する場面はやや少ない。

⑤ 積極的にコミュニケーションを図っている。

3. その他

養成施設を通じて申請書類を提出せず、学生本人が直接県に提出する場合は、お手数ですが学生本人に推薦書の内容が見られないよう、本人開封無効封筒に封入のうえ、学生に手交願います。